令和８年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　　［第１学年］

中３　練馬区立豊玉第二中学校

	課題分析	授業改善策
国語	・非常に意欲的に授業に取り組んでおり、発言にも積極的な生徒が多い。 ・読解、思考、表現、話し合い活動に対しても意欲的で、理解力もある。 ・字が雑な生徒が多い。	・語彙力を増やす、文脈の乱れのない文を書く、字を丁寧に・正確に書く等、基本的な力を育てる。 ・論点から外れずに話し合いを発展させていけるような会話の形を学ばせる。 ・ペアワークやグループワークを効果的に行えるよう授業計画を立てる。
社会	〈地理的分野〉 ・基礎的な知識技能 が 定着していない生徒が多い。 ・授業の振り返りを文章で書くことが苦手な生徒が多い。 〈歴史的分野〉 ・昔のことに関心を持つが、基礎力定着には至っていない生徒が多い。	〈地理的分野〉 ・週２コマなので難しいところはあるが、小テストをなるべく多くするなど、継続して学習する 環境を整えていく。 ・良く書けている振り返りを classroom で共有するなどして、自分自身が書いた文章と比較する機会を多くする。 〈歴史的分野〉 ・資料を活用して関心を高めることと、地道な家庭学習を継続するように促していく。
数学	・授業に対して積極的に取り組んでいる生徒が多く、反復が必要な典型的な問題の正答率が高めである。 ・思考を伴う問題では、苦手としている生徒が多く、試行錯誤をしながら分析・判断する力を高める必要がある。	・現状の強みである典型的な問題を解く力を継続して高めるために計算問題や小テストを確実に実行していく。 ・試行錯誤を必要とする問題に対応するため、演習をする時間を十分に取り、自分の力であれこれ試行錯誤して解答に至る経験を作る。
理科	・観察などの教室外での授業に、特に積極的に参加している。 ・生物分野への関心が高く、教科書の内容にとどまらず高い探究心をもつ生徒がいる。 ・化学分野において、定着に個人差が生じており、基礎から丁寧に指導する必要がある。	・ロイロノート等の ICT を活用し、リアルタイムでの全体共有を取り入れていく。 ・理科室の使い方や安全指導を徹底し、3 年間を通した実験での基礎や基本の定着を図る。 ・化学分野の計算に対して、難易度別の課題や、生徒に合った丁寧な指導を行っていく。
音楽	・歌唱や鑑賞に、積極的に取り組んでいる。 ・ウクレレなどの器楽や歌唱に難しさを感じる生徒がいる。 ・音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号についての理解を深めていく必要がある。	・個人で練習できる教材を配布し、声掛けを行っていく。生徒同士で教え合う時間を作る。 ・歌唱に偏らないよう、様々な活動やジャンルを取り入れていく。 ・音楽用語などについては、プリント等を使用して少しずつ理解させる。また、個別対応が必要な生徒には丁寧に指導していく。
美術	・美術の各題材に意欲的に取り組み、積極的に授業に取り組んでいる。 ・思考と表現力に結び付けて知識を身につけることが課題である。	・作品制作の経験と、それにまつわる知識が関連して身につくよう、資料や授業の展開を工夫する。 ・個別の理解度を丁寧に把握し、必要な指導を適宜行っていく。

保健体育	・全体的に技能の定着は安定しているが、知識の定着には差がある。 ・１年次に基本的な知識・技能を身につけて簡単なゲームや試合が行えるようにしていく。	・ペアやグループでの話し合い活動や、協力して行えるグループワークを多く取り入れ、学び合える場面を提供していく。 ・ルールの緩和や簡易ゲームを用いて競技の特性に触れ楽しめるよう工夫する。
技術家庭	・教科学習については意欲的な姿勢がみられる。製作の基礎となる製作図の見かたや材料を加工する方法を個々の生徒にわかりやすく説明することで学習の成果を達成させる必要がある。 ・製作の取り組みに遅れがちな生徒の対応を考える。（技術） ・身近な食品の名称に関しては、家庭生活などによって知識の差が大きい。 ・献立作成に関して、選択肢の中から料理を組み合わせることは概ねできているが、選択肢のない状態では行き詰ってしまう生徒が多い。（家庭）	・ものづくりの基礎となる製作図を理解するために、電子黒板、書画カメラなどの ICT を活用する。製作に関しては、工具の使用方法の説明と製作見本を準備して学習の成果を高める。 ・製作状況に応じて適切なアドバイスと机間指導をする。（技術） ・地域で生産されている食材を調べ、その食材を使用した料理を考える学習を通して食材への関心が持てるようにする。 ・視覚的な資料の提示やタブレットの活用、小テストの実施などで食品の関する知識の定着を図る。（家庭）
外国語	・何事にも積極的に取り組む生徒が多い。小学校英語の影響で聞き取る力、話す力は以前の生徒より伸びている。ただ、文字を書くことに関しては今後学習していく必要がある。	・話す力、聞き取る力は更に伸ばすため、ALT との授業にも工夫をしていく。また、発表する機会を多くもたせる。 ・書く力に関しては自己表現を英作文で行う場面を多くもたせ、多くの生徒が英語を書くことができるように指導していく。